

2025年5月期中間期（第2四半期）決算説明会

佐鳥電機株式会社

2025年1月16日

1. 2025年5月期中間期（第2四半期）実績
通期予想 業績ハイライト（連結）
2. 「資本コストや株価を意識した経営」の実現に向けた対応

1. 2025年5月期中間期（第2四半期）実績 通期予想 業績ハイライト（連結）

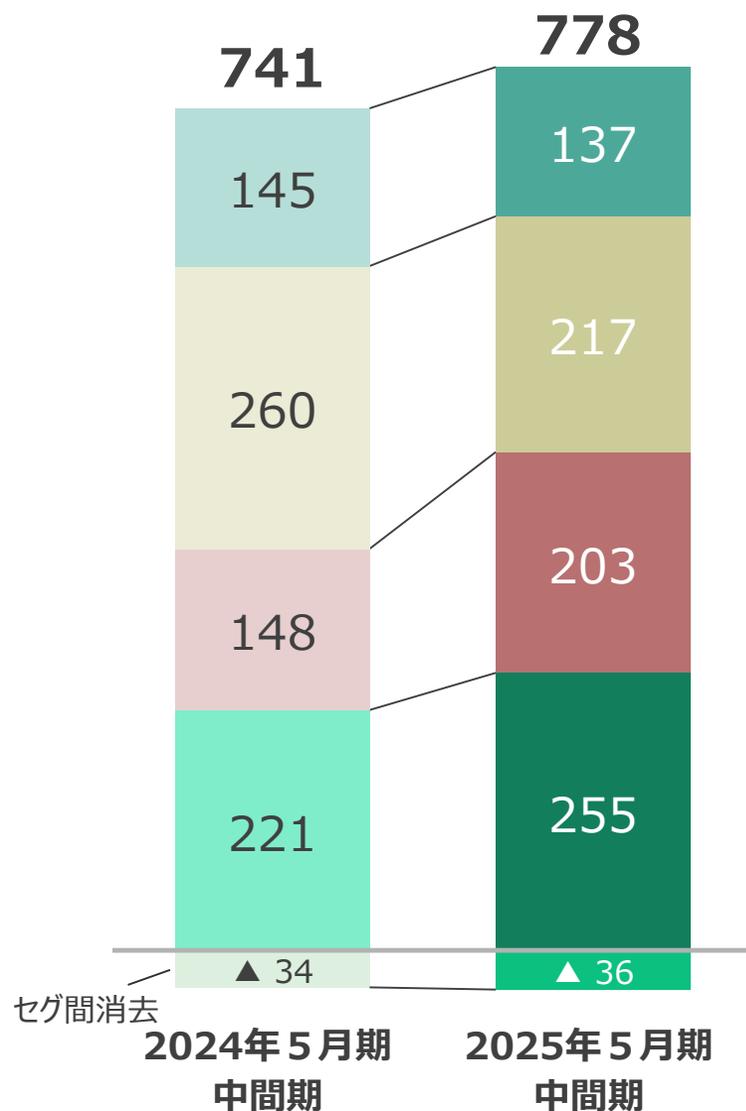
2025年5月期中間期（第2四半期）実績 通期予想 業績ハイライト

(単位：億円)	2024年5月期 中間期	2025年5月期 中間期	前年 同期比	2025年5月期 中間期	当初 予想比	2025年5月期 通期	進捗率
	実績	実績		当初予想		予想	
売上高	741	778	+5%	750	+4%	1,540	51%
営業利益	26.7	20.8	▲22%	20	+4%	43	49%
経常利益	19.4	16.6	▲15%	16	+4%	35	48%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12.7	11.4	▲10%	12	▲5%	25	46%
月平均レート/予想レート (US\$/¥)	145.1円	151.9円		—		145円	

■ 売上高は前年同期、当初予想を達成。営業利益は当初予想を達成。

2025年5月期中間期 セグメント別売上前年同期比 増(減)要因

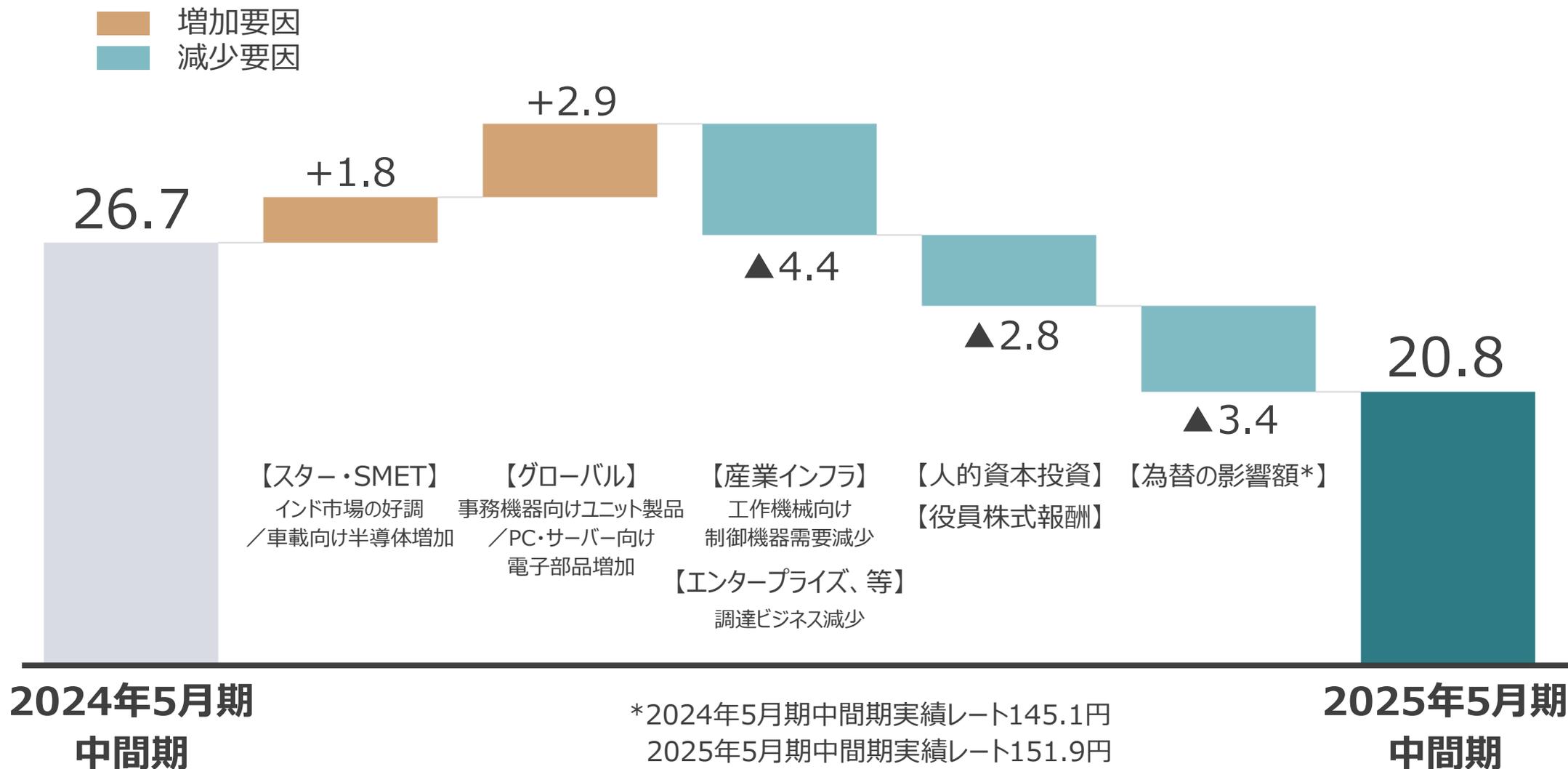
(単位：億円)



セグメント	増(減)額 増(減)率	主な増(減)要因
産業インフラ	▲7 ▲6%	[▲] 工作機械向け制御機器の需要減
エンタープライズ	▲43 ▲17%	[▲] 調達マネジメントサービスの売上減
モビリティ	+55 +37%	[+] インド市場向けビジネス好調、 車載向け半導体の売上増
グローバル	+34 +16%	[+] 事務機器向けユニット製品、 PC・サーバー向け電子部品売上増

2025年5月期中間期 営業利益増(減)主要因

(単位：億円)

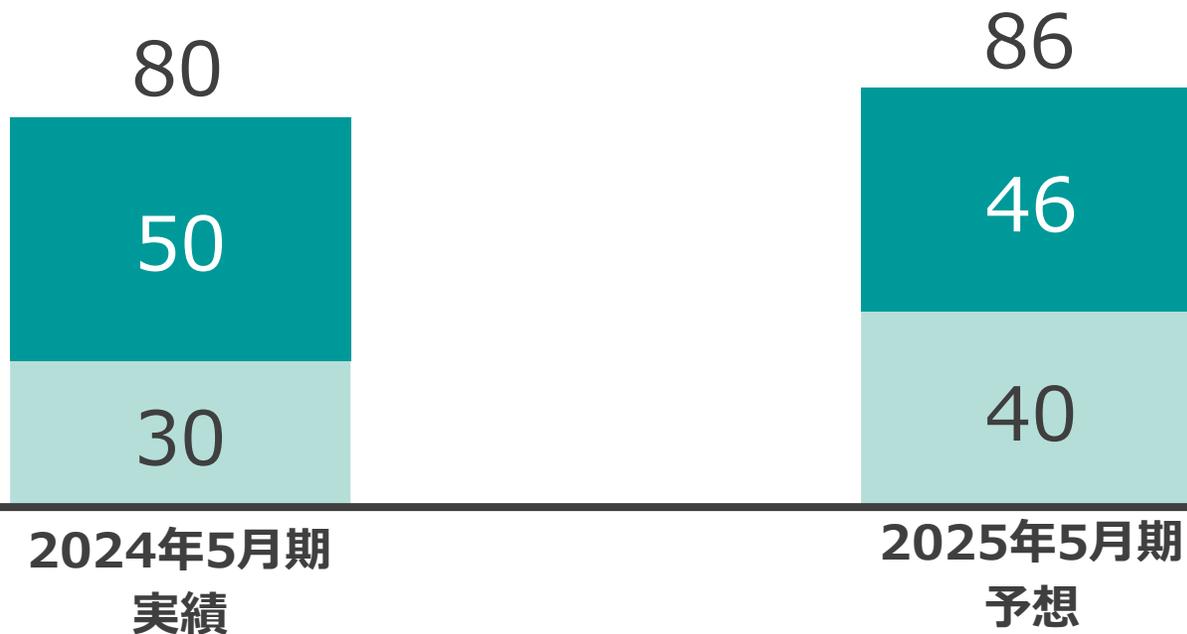


2025年5月期 配当予想 【再掲載】

1株あたり配当額

(単位：円)

■ 中間 ■ 期末



配当性向

55%

51%

通期見通しを踏まえ、当社の配当方針に基づき年間配当86円への増配を見込みます。

2. 「資本コストや株価を意識した経営」の実現に向けた対応

企業価値最大化に向けた取り組み 【再掲載】

「株主資本コスト7%を上回るROE9%以上の実現により、PBR1.3倍以上の達成」を目指す

【2026年度目標】



ROE向上施策

1. 成長戦略の取り組み

- ・成長市場（産業インフラ、モビリティ、インド等）に集中
- ・M&A戦略の加速
- ・ROIC経営の推進

2. 財務施策

- ・在庫保有月数削減によるCCCの改善

株主資本コスト*低減

3. 非財務施策

- ・人的資本経営の推進
デマンドクリエーション人財強化
エンゲージメント改善、等
- ・コーポレートガバナンス強化
スキルマトリックスの徹底、等

*CAPM（Capital Asset Pricing Model）ベースで算定

1.財務施策 -自己資本の圧縮によるROE改善-

有形固定資産の圧縮

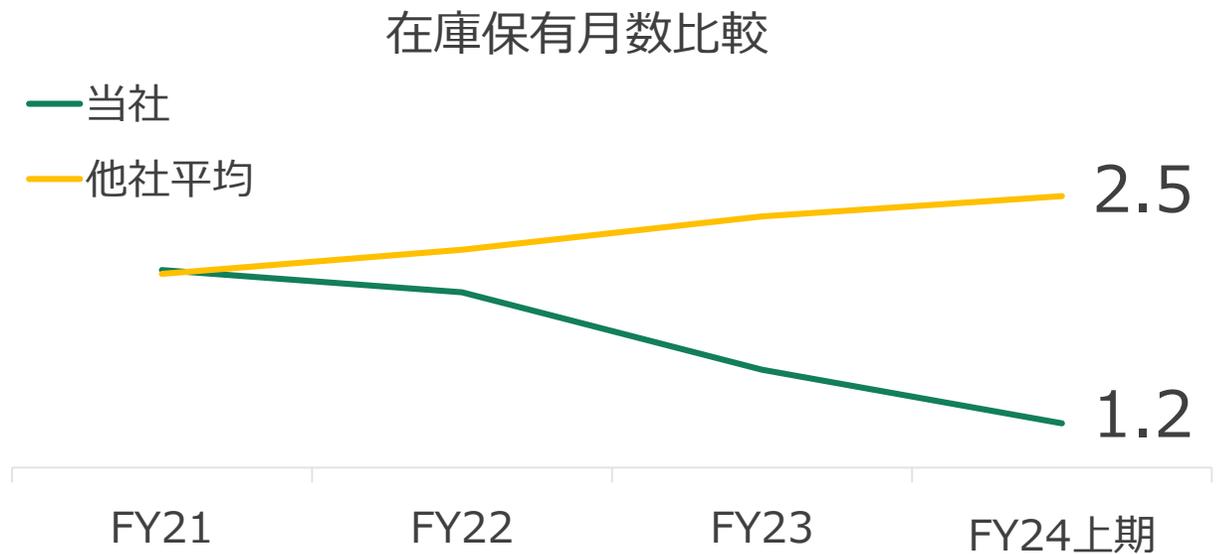
- 事業用資産／遊休資産を売却

	23/5末	24/11末
有形固定資産 (取得価額)	73億円	47億円

▲26億円

在庫の圧縮

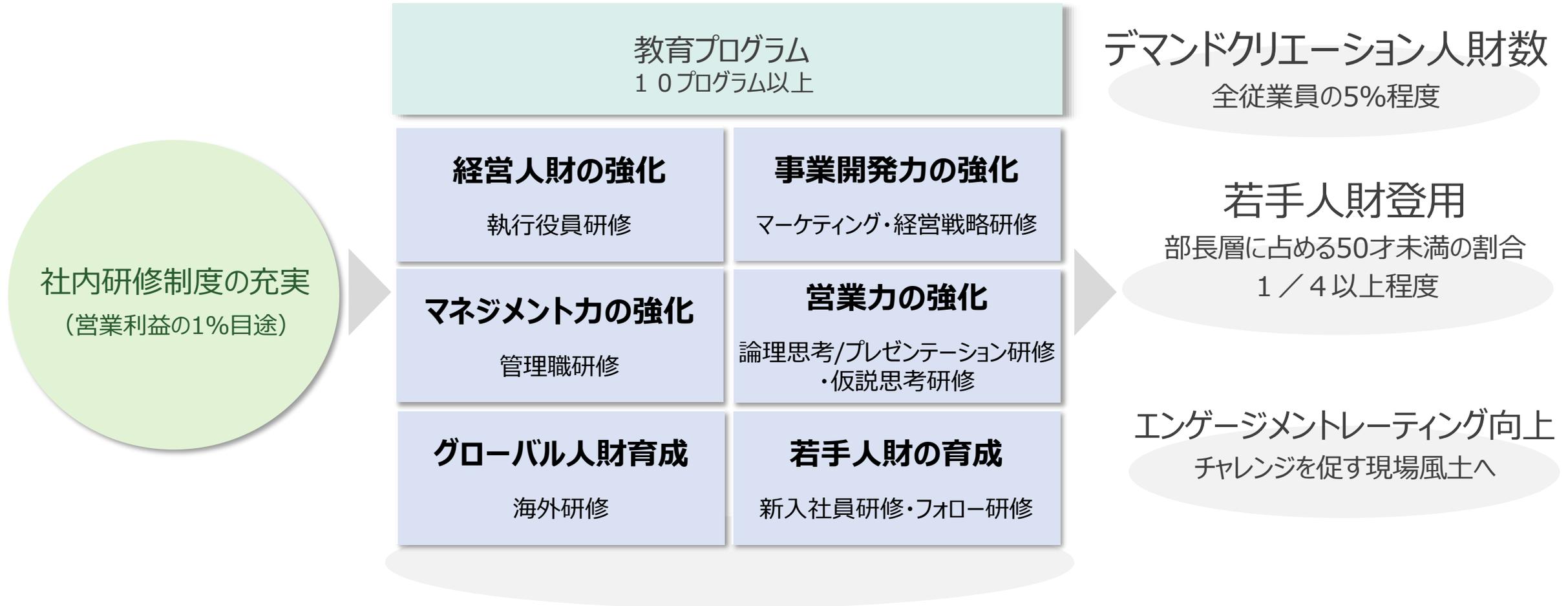
- CCC改善活動の一環として、在庫圧縮活動を展開。在庫保有月数約1.2ヶ月にて運用



※他社：同業23社
(当社算出値)

2.非財務施策 -人的資本経営の推進-

- ・人財マネジメント方針
「既存ビジネスの変革や新しいビジネスモデルの確立に取り組む人財の育成と輩出」に基づいた人財育成
- ・挑戦する風土への変革に向けたエンゲージメント向上への取り組み



3.成長戦略の取り組み ①SMETによるインドビジネスの拡大

新規取引開始

Qualcomm

VISHAY

Melexis

TDK TDKラムダ株式会社



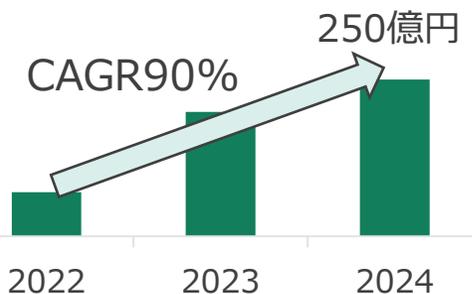
- ・ 印半導体商社として先駆者的存在
- ・ インド ローカル顧客 2,000社
- ・ デバイスのみならずソリューションを提供
- ・ 大手サプライヤーからの高評価

インド市場

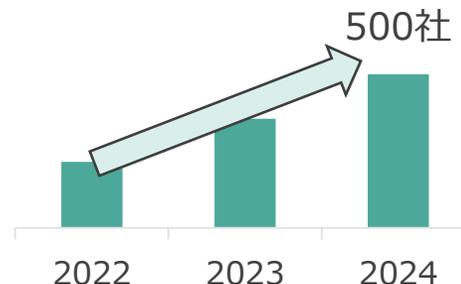
【成長率】

GDP +8% (注1)
 製造業 +10% (注2)
 半導体 +19% (注3)

SMET売上



仕入先数



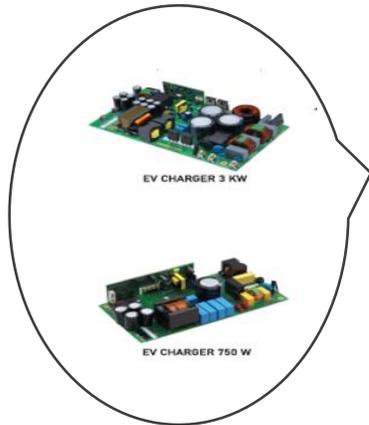
(出所) 注1.2 統計・計画実施省発表資料からジェトロ要約

(出所) 注3 Global Japan AAP Consulting Private Limited

SMETインドの推進するソリューションビジネスについて

(1) EVチャージャーソリューション

- ◆ EV2輪／3輪用ソリューションをフルレンジで提供
350W / 750W / 1500W / 2200W / 3300W
- ◆ GaNデバイスを搭載した次世代モデルを開発中

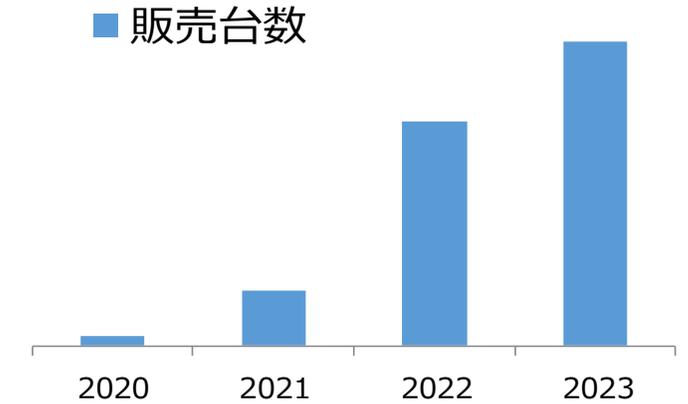


□納入開始

ANEVOLVE

インド自動車向けTier1
サプライヤーの中で業界2位の
ANANDグループ

インドEV2輪車販売



(出所) FOURIN「世界電動二輪車産業の2035年展望」より

□商談中

- Star Engineers
- TVS Motors
- Simple Energy 他

SMETインドの推進するソリューションビジネスについて

(2) 列車向けエンターテインメント、セキュリティソリューション



モバイルビデオ
レコーダ



IPセキュリ
ティカメラ



Wi-Fi
アクセスポイント



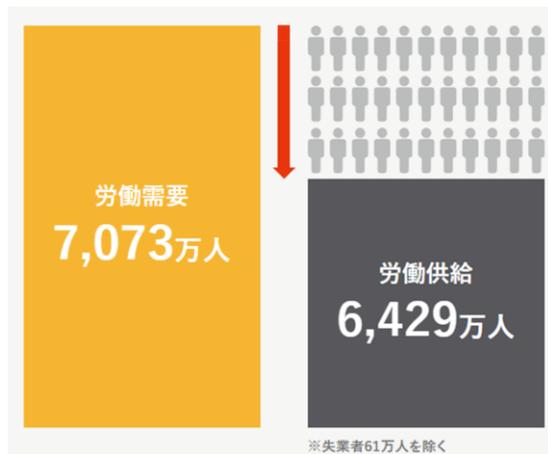
スイッチ
& ルーター

インド国鉄向けにソリューション採用決定

鉄道設備会社と契約締結／取引開始



3.成長戦略の取り組み ②産業DXへの取り組み



2030年に**約650万人の人手不足**が発生すると予測※

さまざまな場面で人手不足などの社会課題が深刻化

※出所：パーソル総合研究所・中央大学「労働市場の未来推計2030」

お客様と一緒に社会課題を解決

製造業／省人化対策

人協働ロボット



【納入先】

- 食品／酒造メーカー
- 自動車部品メーカー
- 電子機器メーカー

畜産業／DX活用

飼料タンク残量管理
Milfee

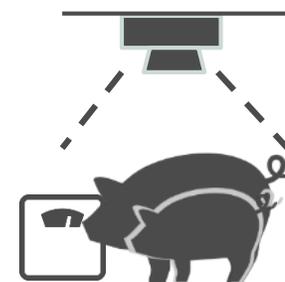


&

養豚農家向け
DXソリューション

※（注）

AI豚カメラ
(Eco-Pork社)



畜産DXを両社で実現させるため、業務提携契約を締結

今回の業務提携の目的：Milfee起点による体重計ソリューションの開発、畜産データ利活用の追求

 佐鳥電機株式会社

マーケティング・顧客開拓・ソリューション開発



 Eco-Pork

体重計測AIを始めとする畜産DX技術の提供、マーケティング

資料取り扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、さまざまなリスクや不確定要素が含まれております。従って実際の業績は予測と大きく異なることがあります。

これらのリスクや不確定要素は以下のようなものがあります。

主要市場の経済情勢や消費動向
為替相場の大幅な変動
資本市場における相場の大幅な変動
主要製品市場における需給関係の急激な変動
技術革新、顧客ニーズの変化 等
自然災害および感染症の蔓延

appendix

2025年5月期中間期 セグメント別損益推移

(単位：億円) 上段：売上高 下段：セグメント利益	2025年5月期中間期			2024年5月期中間期	
	実績	利益率	前年度比	実績	利益率
産業インフラ事業	137 6.0	4.4%	▲6% ▲16%	145 7.1	4.9%
エンタープライズ事業	217 5.0	2.3%	▲17% ▲62%	260 13.4	5.1%
モビリティ事業	203 8.1	4.0%	+37% ▲10%	148 9.1	6.1%
グローバル事業	255 5.6	2.2%	+16% +104%	221 2.7	1.3%
全社及び消去	※1 ▲36 ▲4.0	-	-	▲34 ▲5.7	-
合計	778 20.8	2.7%	+5% ▲22%	741 26.7	3.6%

※1 セグメント間取引の消去が含まれます。

2025年5月期（予想）

セグメント別損益推移

(単位：億円) 上段：売上高 下段：セグメント利益	2025年5月期			2024年5月期	
	予想	利益率	前年度比	実績	利益率
産業インフラ事業	300 15.2	5.1%	+0% ▲5%	300 15.9	5.3%
エンタープライズ事業	467 12.7	2.7%	▲5% ▲38%	491 20.6	4.2%
モビリティ事業	376 17.3	4.6%	+18% ▲5%	320 18.2	5.7%
グローバル事業	462 8.8	1.9%	+5% +53%	439 5.7	1.3%
全社及び消去	※1 ▲67 ▲11.0	-	- -	▲70 ▲13.0	-
合計	1,540 43.0	2.8%	+4% ▲10%	1,481 47.5	3.2%

※1 セグメント間取引の消去が含まれます。